

平成27年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
宇陀市	室生中学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

「地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教職員や地域の大人が子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び地域教育力の活性化を図ること」を目的としている。

2 取組の概要

- 6月と11月に支援ボランティアさんとともに花壇の整備と花苗の植え替え作業を生徒と共同で行っている。生徒とともに実施することで、地域の人たちとのふれあいの場になっているとともに、生徒もきれいになっていく充実感を味わえるし、ものを大切にしていける公共心も養っているように感じる。また、地域の人たちになるべく来ていただくことで、大きな学校行事への出席が増えていることにもつながっていると感じる。【写真①】
- 例年本校では、8月最終週に体験学習を実施している。1年生は「ふるさと室生再発見」として、地元の伝統産業や郷土料理について、地域の職人さんや詳しい人にお世話になって、2日間の体験をさせていただいている。
生徒の感想からは「職人さんの『畳は日本建築やから、もっと畳の文化をひろげていきたい。』という言葉から、日本の家は洋風の家が増えてきているので、畳がある家は少ないのかなと思います。この体験を家族にも話したりして、畳の文化を宣伝していけたらなと思います。」などが出され、新たな地元発見につながっている。【写真②】
- 年間を通して生徒会が中心となってペットボトルキャップの回収活動を行っているが、校区内にあるコンビニエンスストア（2店舗）や地域の方々に協力いただき、年々回収数がふえている。生徒とともに活動する場面はないものの、それぞれのご家庭で意識して集めていただき、袋いっぱい学校へご持参いただく様子を見るにつけ、活動の広がりを感じるとともに、地域のあたたかさ、学校への支援のありがたさを実感している。【写真③】

花植え作業①



地域調べ学習②



ペットボトルキャップ回収③

